

地域別におけるガソリン購入数量格差

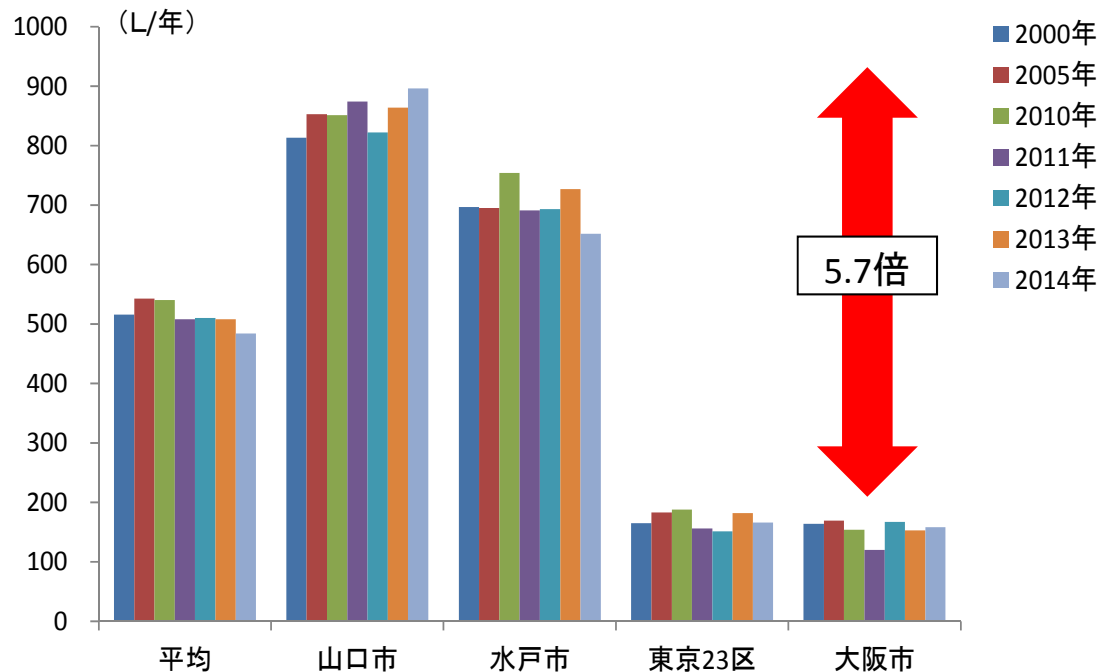
◆ガソリン購入数量

- ・全国平均、東京23区のガソリン購入量は前年比で小幅減少であったが、全国最多の山口市では小幅増となっている。
- ・最多(山口市)と最少(大阪市)との購入量の格差は、2005年の5.0倍から、2014年には5.7倍に拡大。

◆自家用自動車の世帯当たり普及台数(都道府県別)

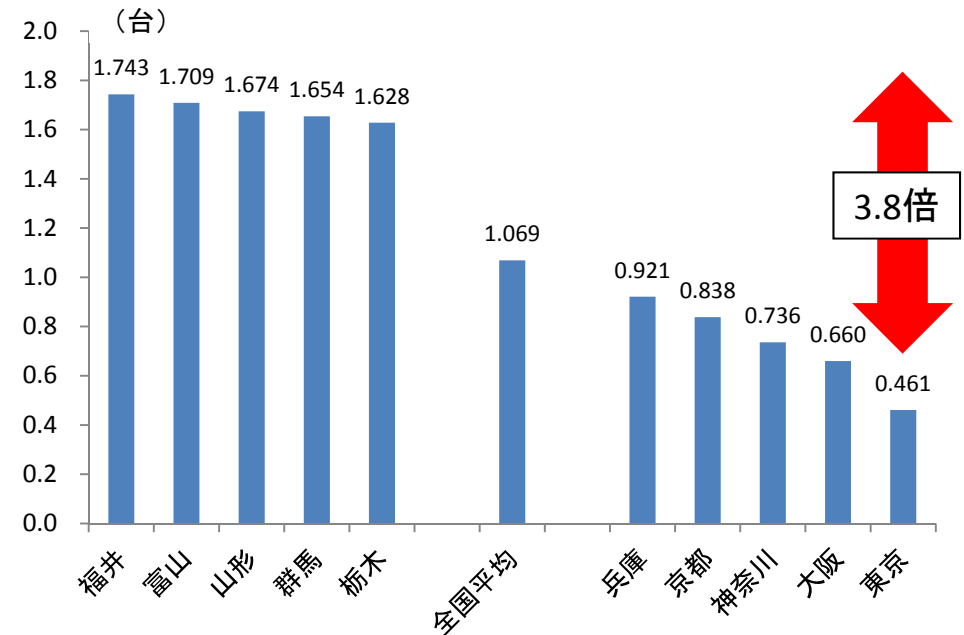
- ・世帯当たり普及台数が1位の福井県(世帯当たり1.743台)と、最下位の東京都(同0.461台)では3.8倍の開きがある。

ガソリン購入数量(地域別)



(出所)総務省:家計調査・家計収支編・1世帯当たり品目別支出金額・二人世帯・年次・都道府県庁所在市別

自家用自動車の世帯当たり普及台数(平成26年3月末現在)



(出所)一般社団法人自動車検査登録情報協会